

特定非営利活動法人 日本自転車環境整備機構設立趣旨書

この法人は、自転車の普及による健康維持にとどまらず、自家用車に代替える交通手段としての役割、自転車の楽しみ方の多様性を啓蒙し、地域の自転車の「安全走行」「安心走行」「マナー走行」のネットワーク作りに「自転車サービスステーション」など自転車環境整備を具体的な企画立案と行動を喚起する特定非営利活動を一般市民を対象として行う組織である。

自転車の普及と楽しみかたを広げることによって期待される環境、健康、災害時の地域における「安全」「安心」の拠点作り等各分野での効果は次のとおりである。

- ・移動手段の転換と見直しにより、化石燃料の消費を軽減するライフスタイルに組み込むことで生活の中でCO²削減に寄与する。
- ・自転車の積極的利用によって、予防医療の面からも成人病予防に寄与する。
- ・地域における「自転車サービスステーション」の開設は、特に災害時初期において一般市民の足となり、且つ情報網としての機能・地域の拠点としての役割が大いに期待される。
- ・自転車の楽しみ方の多様性を啓蒙することで、競技者発掘・育成の環境作りにも寄与する。

我々は、この度の2011年3月11日東日本大震災から多くのことを失い、学んだ。災害時の情報インフラが想像以上に脆弱であり、機能するまで時間がかかるのは、大量の情報ラインが1本であり、1箇所寸断されることで、全く情報の流れが停止してしまうことにあった。

- ・会員、行政、自転車関連団体と連携し、スポンサー企業の支援のもとに、新しい自転車普及び楽しみ方、防災上の意義と自転車の多様性を学ぶイベントを企画し、啓蒙活動を展開する。
- ・自転車利用者と自転車競技者との交流を深めると共に、移動手段としての自転車から楽しむ自転車としてのあり方に転換していく啓蒙活動を展開する。

我々は、自転車を通して新しい自転車のあり方、楽しみ方を提案すると共に、自転車が持つ機能的な役割を通して地域の「安全」「安心」に対する新しい取り組みを広く提案し、推奨するNPO法人を目指すものである。

平成23年10月1日

特定非営利活動法人 日本自転車環境整備機構

代表者住所 東京都板橋区赤塚新町三丁目 32-1-209

代表者氏名 高田 鐵也